

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 24 日 (2017.8.24)

【公開番号】特開 2016-84750 (P2016-84750A)

【公開日】平成 28 年 5 月 19 日 (2016.5.19)

【年通号数】公開・登録公報 2016-030

【出願番号】特願 2014-218166 (P2014-218166)

【国際特許分類】

F 0 2 P 15/10 (2006.01)

F 0 2 P 3/05 (2006.01)

【F I】

F 0 2 P 15/10 3 0 1 B

F 0 2 P 3/05 D

F 0 2 P 3/05 E

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 13 日 (2017.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

マルチ放電制御手段 4 は、外部からの点火信号がハイレベルからローレベルへ遷移すると、当該点火信号と同期させて一次コイル通電信号をハイレベルからローレベルへ遷移させる。この一次コイル通電信号のレベル遷移によって、スイッチ手段 3 は開状態へ遷移し、一次電流を遮断する。ここで、外部信号（E C U 等から入力する信号）によって定められる、初回の一次電流の通電時間（時間長さ）を  $t_{10}$  とする。

通電時間  $t_{10}$  は、後述する制御目標電流値よりも大きな一次電流が流れるように、2 回目以降の一次電流通電時間よりも長く設定されたものである。

マルチ放電制御手段 4 は、一次電流検出手段 5 からの一次電流検出信号を入力して、一次コイル 2 1 に流れる一次電流の大きさを監視しており、後述する一次電流の定電流制御を行う。この定電流制御に先立ち、初回の一次電流の通電・遮断を、前述のように外部から入力した点火信号に応じて行う。換言すると、一次コイル通電信号の最初期部分は外部からの点火信号であり、初回の通電時間  $t_{10}$  は当該点火信号を出力した E C U 等によって設定された時間長さである。